

千葉県廃棄物処理施設設置等審議会

議 事 録

平成28年度 第3回

議題

- (1) (株)見晴台環境の産業廃棄物最終処分場変更計画について

平成28年度 第3回千葉県廃棄物処理施設設置等審議会 議事録

1 日 時

平成28年11月4日（金） 13:30～17:00

2 場 所

かんぽの宿 旭 会議室（旭市仁玉2280-1）

3 出席者

審議会：6名

事務局：生駒環境対策監

廃棄物指導課：長谷川課長、石崎室長、安藤主幹、

勝又主幹、坂元主査、久保田主査、玉沢主査、川股副主査、

多田副主査、金子技師、鈴木技師

海匝地域振興事務所：伊藤主査、大澤副主査

環境研究センター：吉井研究室長、森崎主任上席研究員、大石上席研究員

4 議 事

(1) ㈱見晴台環境の産業廃棄物最終処分場変更計画について

5 議事要旨

(1) ㈱見晴台環境の産業廃棄物最終処分場変更計画について

事業者から変更計画の概要及び委員意見への回答について、各委員から意見が出された。

本件の審査は継続となった。

委 員 事業計画地の直近の民家は西側の集落があるのか。

事業者 そのとおりです。

委 員 降下ばいじんの測定調査した時期は、平成20年8月に埋立作業を行っていた時か。

事業者 はい。

委 員 将来さらに嵩上げする計画はありますか。

事業者 現在のところ、これ以上嵩上げするような計画はありません。

委 員 それは安全率等を考えてということか。

事業者 周辺地形等を勘案した結果、今回の計画の高さが限界である考えました。

委 員 他の土地で最終処分場を造る計画はあるのか。

事業者 今後、検討していきたいと思えます。

委 員 大雨などの想定外の災害により堰堤の一部が崩れた場合、水は概ね南側の三宅川

の方に流れるのか。

事業者 地形が概ね南側（三宅川方面）に傾斜しているため、崩れた場合は、土砂や雨水は、南側に流下するものと考えられます。

委員 受入れの施設について、伺いたい。搬入路は分かるが、展開検査の実施場所はどこか。

事業者 計画平面図の上側にて展開検査と記載された白い四角の箇所となります。

委員 展開検査時の散水はどこで行うのか。

事業者 散水は、搬入口付近で行うが、展開検査場で必要な場合は、展開検査場までホースを引き、水を散水しながら埋め立てる計画です。

委員 埋立時の騒音と振動について、重機が埋立地の中心付近で稼働する場合で予測を行っているが、埋立地の端の方で重機が稼働する場合について検討されているか。

事業者 後日、改めて回答いたします。

委員 搬入路付近での騒音の予測について、調査・予測地点は 1 地点だけか。また、調査地点の選定理由についても教えてください。

事業者 後日、改めて回答いたします。

委員 事業計画地は、かなり風が強い場所だと思うが、粉塵等の飛散による苦情は今までにあったか。あるとすれば、その対策をどのように行っているのか。

事業者 今までに粉塵の苦情はありません。飛散防止対策として、ネット掛けを行い、その都度、埋立を実施していることから廃棄物の飛散による苦情はありません。

委員 既存の処分場の埋立において堰堤の傾きはあったか。また、降雨や地震の影響により堰堤が崩れたり、廃棄物が流出したことはあるか。

事業者 降雨等による堰堤の崩壊や変形を確認していないことから傾きはないと考えています。また、廃棄物が流出したこともありません。

委員 地下水の検査は年 1 回と書かれているが、pH 等は月に 1 回測定するのか。

事業者 はい。

委員 堰堤の変形がないということはどのように確認されているのか。

事業者 目視にて確認しており、変化はないと確認しております。

委員 嵩上げによる堰堤の安定性については確認していますか。

事業者 安定計算によって確認しております。

委員 石綿含有廃棄物の搬入はどのように行っているか。

事業者 フレコンバッグを用いて乱さない形で搬入しています。

委員 フレコンバッグによる搬入について、搬入時のバッグの破損は今まで発生したことはあるか。

事業者 ありません。